

銚子市立銚子中学校

小中高大地域連携による理科学習プログラムの実践 —地域や校種の特徴を生かした理科教育の工夫—

銚子市を挙げての理科教育

地域の理科教育資源を生かす試み

利根川の河口に位置する千葉県銚子市は、海・川・緑に加え、国の天然記念物である屏風ヶ浦など貴重な地層も有する自然豊かな場所だ。そんな銚子市の学校では、市立銚子中学校を中心に理科学習の改革に取り組んでいる。

活動内容はボランティアガイドによる地層見学のほか、市立銚子高等学校や千葉科学大学と連携した実験教室、中学校教諭による各小学校への出前授業など多岐にわたる。市立銚子第五中学校校長で、昨年度まで銚子中の校長として活動を牽引してきた玉井敏雄氏は「銚子の豊かな教育資源を生かすためにも、小中高大と地域が連携し、それぞれの持ち味を発揮することで理科好きの子どもを育成したいと考えました」と話す。



昨年の夏期実験講座 炎色反応の様子に興味津々



千葉科学大学教授による中大連携授業



千葉科学大学での中大連携授業実験の様子

理科好きであり続けるための工夫を

より高度な授業や実験を体験した小・中の児童生徒からは「中学生になるのが楽しみ」「本物の科学者になったような気分がした」などの声が聞かれたが、刺激を受けたのは児童生徒だけではない。活動に参加した教員にとっても多くを学ぶ機会となり、小学校への出前授業を行った中学校教諭からは「子どもたちの目がキラキラしていて、みんな理科が大好きなんだと実感した」といった意見が出された。

これを受けて玉井校長は、「中・高と進むにつれて理科好きが少なくなる傾向にあるので、子どもたちが理科好きであり続けられるような学習プログラムを作っていきたい」と話す。玉井校長の後を受けて実施担当者となる銚子中の伊勢崎慧教諭も、「今年度は市内の全小中学校に実施対象を広げる予定ですが、生徒が『理科は難しい』と身構えないように工夫したい」と話していた。

(令和元年度プログラム助成)



●実施担当

伊勢崎 慧 教諭

●活動のモットー

すべての子どもたちが楽しめる理科の授業を行うように心がけている。そのためにも、難しい事象を、いかに分かり易く説明するかに配慮している。

学校概要



市立の第四中学校と第八中学校の統合で誕生した新設校。「[知・徳・体]の調和のとれた生徒の育成」を教育目標に掲げる。

設立:2013年

生徒数:437人

所在地:千葉県銚子市唐子町31-2



フラワープロジェクトに
取り組む銚子中学校の生徒

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索